

なかしゅんべつ



謹賀新年

目次

JA中春別役員、各組織新年の挨拶	2	JAグループ通信	9
JA中春別代表理事組合長挨拶	3	中春別保育園乗馬体験	10
中央会会長挨拶	4	別海高校活動報告	11
JA中春別酪農対策協議会会長挨拶	5	根室家畜保健衛生所	12~13
青年部部长・女性部部长挨拶	6	関連会社から挨拶	14
JA中春別乳牛改良同志会会長挨拶・EX獲得牛	7	乳質乳価	15
営農対策情報	8	十二支・丑の由来・編集後記	16

丑



新年号

2021 Vol. 516

謹んで新年の
お慶びを申し上げます



新一年を迎え皆様のご健康と
多幸を心よりお祈り申し上げます
今年もよろしくお祈りいたします

令和三年 元旦

会長	理事	代表理事	副組合長	専務理事	常務理事	理事	理事	理事	代表	監事	監事	監事	他職員
西川	望月	原内	大山	伊藤	遠藤	山崎	片野	荒	高橋	森	森	森	同
寛稔	英彦	修	武永	一吉	均	浩二	大介	青史	真悟	忠義	忠義	忠義	同

中春別酪農対策協議会会長

山崎 浩二 外会員一同

中春別農協青年部部長

山田 晃嗣 外部員一同

中春別農協女性部部長

南澤 順子 外部員一同

中春別農協良質生乳生産
推進委員会委員長

伊藤 一吉 外会員一同

中春別農協良質粗飼料生産
利用対策委員会委員長

原内 修 外会員一同

中春別地域河川流域環境保全
推進委員会委員長

伊藤 一吉 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長

寺澤 佳吾 外会員一同

中春別乳牛検定組合組合長

望月 英彦 外組合員一同

中春別農協農業後継者対策
協議会会長

原内 修 外会員一同

中春別農協年金友の会会長

高橋 昌晴 外会員一同



新年のごあいさつ

牛に感謝し新しい発展に向け 更なる飛躍の年に

中春別農業協同組合 代表理事組合長 望月 英彦

新年明けましておめでとうござい
ます。

組合員の皆様には、健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申し上げます。
本年は丑年であり、牛は神の使いと考
えられております。丑年は、我慢(耐え
る)や発展の前触れ(芽が出る)の年にな
ると言われております。我々の職業
の元である牛に感謝して、新しい発展
に向けて更なる飛躍の年にしたいも
のだと思っております。

昨年、何と言っても新型コロナウイルス
イルスの世界的規模の発生により、経
済が大混乱となり、本来なら、東京オ
リンピックの開催により、今頃は感動
の熱が冷めやらぬ時を過ごしている
はずでしたが、未だ終息の見通しが立
たず困難な日々が続いております。地
球誕生の歴史を顧みますと、いつの世
もウイルスとの戦いであり、それを人
類は知恵と科学の力で打ち勝ってき
ております。ワクチン投与も始まって
おり、一日も早い社会生活の正常化を
願うばかりです。

さて、昨年の当JAの営農年度にお
ける生産乳量(12月5日)は、過去最
高の12万8010ト、前年比102.
8%となり、搾乳中止者が6戸ある
中、地域畜産クラスター協議会で定め
た草地更新率8%を目指しての良質
粗飼料の確保が、地域の生乳生産量の
増加につながっていると確信してお
ります。組合員皆様のご努力に感謝し

ております。なお、安全安心な生乳生
産のため、昨年は、バルククーラーに
ミルクドクター励行のステッカーを
貼って啓蒙活動を行いました。今後と
も良質乳出荷にご協力をお願いいた
します。

当JAでは、JGAPの取得農場も
出ており、JAS認定を目指す農場も
出てきております。スマート農業の普
及により、繁殖管理など新たなデ
ータ農業が進んでおります。繋ぎ
型搾乳ロボット
の導入も1戸あ
り、組合員個々の
選択肢が、また一
つ広がりました。
現在、JAで取り
組んでいるクラ
ウド型GISシ
ステムについて
は、圃場台帳の整
備に有効と考えますので、是非、活用
していただきたいと思っております。



世界では、TPP11を始めとする経
済連携協定は、農林水産業に極めて大
きなプラスの要素があると意義を強
調しております。希望的観測ではそう
なって欲しいと思いつつも、大きな問
題だけに不安を感じてやまないとこ
ろです。

自然災害では、北海道沖千島海溝の

巨大地震と津波の想定について、4月
に国から発表されております。今後考
えられる具体的な被害を想定し、防災
対策について我々も最大限の力を入
れていかななくてはならないと思っ
ております。

令和3年度は、第1次中期計画の最
終年度であり、成果を分析し、第12次
の計画策定に向けて取り進めてまい
ります。組合員の皆様からご意見をい
ただき、5年後、10年後の当JAの方
向性をつくり上げていきたいと思っ
ております。そこで今、一番頭が痛い
のは、地域組合員のリタイアでありま
すが、更には、生産拡大を希望する組
合員と(株)なかしゅんべつ未来牧場研
修生の新規就農候補地の確保、この両
面をどう進めていくか、幅広い論議が
必要と感じております。

JAは、組合員あつての組織であ
り、組合員の意思統一がJAをつくっ
ていく根源であります。一昨年は、「ワ
ンチーム」という言葉で新年を迎えま
した。今年は、新型コロナウイルスが
蔓延する中、皆様とともに「エール」と
いう言葉で互いに励まし合っていけ
たらと思っております。

最後に、組合員の皆様を始め、関係
機関の皆様には、JA事業への特段の
ご理解とご協力をお願い申し上げます
とともに、ご健勝とご活躍を心より
祈念申し上げます。新年の挨拶といたしま
す。



新年のご挨拶

令和3年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 小野寺 俊幸

新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員並びに役職員の皆様には、コ
ロナ禍にあってもその苦境にも負け
ず、日々営農に更に邁進されておられ
ることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の
発展に向け、日頃より多大なご尽力を
されていることに対しても、改めて敬
意と感謝を申し上げる次第でありま
す。

昨年の北海道農業は、米の作況指数が
106の「良」、畑作物については収穫時期
に一部地域に降雨による影響が見られ
たものの、昨年並以上の結果となり、生乳
も前年の実績を超える生産となり、地
域、作目によって違いはありますが概ね
良い出来秋を迎えることが出来たと感
じております。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルス
ウィルスとの戦いが長期化し、今まで
の日常とは大きく変化した1年であり
ました。農業分野においても例外では

なく各種イベントの自粛、外食・中食
の需要減少等の影響により、各作物の
更なる需給緩和が懸念されているとこ
ろです。今後は作物ごとの実態を踏ま
えた、国産・道産農畜産物の需要喚
起・消費拡大を図るとともに、外国人
技能実習生が入国できないことによ
り、農作業の人材確保にも大きな影響
が出ておりますので、北海道、全国連
とも連携し、JAグループ北海道とし
てしっかりとその対応を図ってまいり
ます。

JAグループ北海道では、昨年より
道民の皆様に対し北海道農業から行動
を起こすことで、農業と人、農村と都
市、生産者と消費者の関係のあり方を
見つめなおしていただくことを目的と
して「AGRI ACTION! HOK
KAIDO（アグリアクション北海道）
道」と題した情報発信を北海道の支
援もいただき、スタートいたしました。

「AGRI ACTION! HOKK

「AIDO」は次の3つのテーマを伝え
ることを目的としております。

① 食料自給率に対する理解促進と行
動変容の喚起

② 農業には多様な働き方があるとい
うことの周知とより多くの方が農業
に携わっていただき、将来的に農業を
仕事の選択肢として考えてもらうこと
（本業以外に副業として農業に親しむ
人々を「パラレルノーカー」と命名）

③ 日頃から道産農畜産物を食してい
る道民の皆様へ感謝を伝えること

本年は第29回JA北海道大会の実践
最終年であることから、この取り組みと
協同の力を梃子として「農業所得の増
大」「多様な担い手の確保・育成」「食と
農とつながるサポーター550万人
づくり」の目標達成に向けて、実践活動
を強化してまいります。

結びになりますが、本年は辛丑年で
す。牛は古くから酪農や農業で人間を助
けてくれた大切な動物でした。大変な農
作業を最後まで手伝ってくれる働きぶ
りから、丑年は「我慢（耐える）」、「これか
ら発展する前触れ」というような年にな
ると伝えられております。

この謂われにあやかり、新型コロナウ
イルスの1日も早い克服と皆様のご
健勝、本年が豊穡の年となりますよう
ご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とい
たします。



新年のご挨拶

組合員の意志を政策に反映



中春別酪農対策協議会 会長 山崎 浩二

新年明けましておめでとうございます。会員各位におかれましてはご家族おそろいの上、穏やかなお正月を迎えたことと存じます。また、昨年は当会の事業運営に対しまして特段なるご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年の酪農情勢を振り返りますと、用途別原料乳価格は全ての用途で据え置きとなりました。また、補給金単価の改定については、働き方改革などの影響からくる集乳経費の上昇を踏まえ、集送乳調整金が5銭上がり10円85銭となりました。限度数量につきましては5万ト増加し345万トとなり、毎年未達の中での限度数量の拡大は行政からの生乳増産へ向けた強いメッセージと受け取れる決定となりました。

畜産物価格については、ここ数年の高値安定の情勢からは明らかに低下してきましたが、まだ過去の水準まで低下してはおりません。

また、改正畜安法の下、生産者が出荷先を自由に選べる時代となりましたが、生乳を安定的に消費者に届けるためにも決められたルールを順守していくことが大切となってきます。

そして何よりも大きな影響をもたらしたのは、

新型コロナウイルスです。

2月に日本に侵入してから瞬く間に全国に拡散し、その影響から3月から5月末まで各学校が休校となり、学乳停止などを原因とした仕向変更によつて、脱脂粉乳の在庫が過去最高水準まで積みあがりました。新型コロナウイルスの勢いは今も全く衰えておらず、インバウンド需要の大幅な減少、外出自粛要請などから、乳製品需給状況は今後も予断を許さない状況となっております。

そのような中での酪対活動となり、本来計画していた要請活動が全く実施出来ず、もどかしさを感じ一年となってしまいました。

本年もどのような活動ができるのかを探りながら、当会の本質である酪農民の意志を政策に反映させるべく努力してまいります。

最後になりますが、会員ならびにご家族の皆様は今後ともご理解とご協力をお願いすると共に、皆様にとつて実りある一年でありますよう心よりご祈念申し上げます。



女性部新年のご挨拶

明けましておめでとうございませう。ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に對しまして、部員の皆様をはじめ農協、各関係機関の皆様



中春別農協女性部
部長 南澤 順子

「できることからはじめよう」を合言葉に
様のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、暖冬で穏やかなお正月でしたが、新型コロナウイルス感染症の猛威はすでに忍び寄っており、2月以降は国内も世界も新型コロナウイルスによりパニックとなりました。初の緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛や学校の休業要請などが行われたほか、さま

ざまな事業が中止となり経済への打撃も著しい状況でした。

私たち女性部でも、毎年人気の寄せ植え講習、宿泊研修などほとんどの事業を自粛せざるを得ませんでした。唯一、花壇の片づけは人数制限、感染症対策をしっかりとしたうえで行いました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。

また、消費拡大につながる事業として、青年部と合同でお中元・お歳暮の発送作業を行えた事は大変良かったと思っております。

皆様のご理解とご協力のおかげで今日があると思います。コロナ禍の影響により活動が停滞し、休止に追い込まれ組織基盤が大きく揺らぐ深刻な事態となっておりますが、このような状況にあっても私たちは「でき

ることからはじめよう」を合言葉にwithコロナ時代においても、女性部活動に取り組み、一歩ずつ着実に前進して参りますのでどうぞ宜しくお願ひ致します。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。

青年部新年のご挨拶



中春別農協青年部
部長 山田 晃嗣

新年あけましておめでとうございます。

当青年部活動に對しまして組合員皆様をはじめ農協や関係機関の皆様には、日頃よりご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、

Stay farm 今出来ることを
牧草収穫時期における長雨や日照不足から牧草の成長も著しくなく、収量・品質ともに不安の残る結果となりました。また、新型コロナウイルスの感染防止のため「密閉・密集・密接」に配慮したことにより、様々な事に影響を及ぼしました。

例年は、中春別の小・中学生を対象に募集した標語のロールバックメッセージ

作成や牛乳・乳製品の消費拡大運動、また、當農知識の向上を目的とした、道内管内での視察研修会や各種勉強会等を実施していただきましたが、主な活動はすべて自粛となり、戸惑いを感じる一年となりました。

そのような状況下の中でありましたが、中春別の小・中学生に向けて、消費拡大を目的としたPRグッズや乳製品の配布を行いました。

また、青年部・女性部合同のお中元・お歳暮ギフトは、感染拡大防止に配慮しながら発送することができ、注文をいただきました皆様のご協力に心より感謝いたします。

本年度事業も残すところ3カ月あまりとなりましたが青年部一同、これからも一層気を引き締めて各活動に取り組みまいりますので、皆様方におかれまして

は今後ともご指導の程お願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。





新年のご挨拶

一日も早い回復を願う

中春別乳牛改良同志会 会長 寺澤 佳吾

2021年、新年を迎えるにあたり日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

また、当同志会事業推進におきましては、農協はじめ、各関係機関の皆様にも多大なるご協力をいただき、役員、会員一同、心より感謝申し上げます。

昨年は、1月に国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認され、今日に至るまで依然収束の目途が立っておりません。学校などの臨時休校、飲食店の時間短縮営業、休業要請などにより乳製品・肉製品の消費にも大きな影響を及ぼし、先行きの見えない未来に不安が募る日々となっております。

種事業の利用により、生産基盤の拡大・拡充、雌雄選別精液の利用拡大により乳牛頭数も増加傾向にあります。

こうした情勢下、令和2年度の同志会事業と致しましては、新型コロナウイルスの感染防止対策を万全に講じることが極めて困難であることから各種ショウ、共進会が中止となり、当会主催で毎年多くの参加者のもと開催しております、「講習会」、「視察研修」等も、会員・参加者の安全と健康を第一に考え開催できる方策を検討致しましたが、残念ながら開催を中止せざるを得ないという判断に至りました。限られた事業となりましたが、組合員や地域の皆様にショウや乳牛改良に触れ興味を持って頂けるよう組合だより紙面上で年2回の「ホルスタイン写真コンテスト」を歴代のJA中春別乳牛共進会のチャンピオン牛で開催致しました。さらに酪農全国誌に広告

を掲載し、「中春別ホルスタイン」をアピール致しました。

日頃の乳牛改良の成果と致しましては、3頭が新規エクスレントを獲得し、累計エクスレント頭数は243頭を数えます。これも日々の乳牛改良に対する情熱と努力が実を結んだ結果となりました。次年度以降も新型コロナウイルスの影響は落ち着きを見せないことが予想されますが、感染症予防対策を講じ、会員・参加者の安全と健康を第一に考え一つでも多くの事業が展開できるように考えていく所存でございます。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し、中春別の地に根差した「牛」を追い求めるべく、活動して参りますので組合員、農協、各関係機関のみなさまには変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和2年 新規EX獲得牛

累計243頭

EX-90 05-03



MM コロンバス カリスマ メープル

No.1404513691 2015.5.25 生
03-11 305 M12,012kg F3.9% P3.2% SNF8.6%
父：メープルダウンスアイ G W アットウッド ET
母：MM コロンバス カリスマ ダビューク

所有者 目黒 雅明 殿

EX-90 06-00

フロートリバー パイニー ゴールドチップ アリエル

No.1432610508 2014.3.4 生
04-03 305 M12,602kg F3.8% P3.1% SNF8.6%
父：ミスター チャンティイー ゴールドチップ ET
母：FR パイニー タレント

所有者 浮川 優 殿

EX-90 06-08

フロートリバー レーモン ブラクストン ジェシカ

No.1375810379 2013.12.13 生
04-10 305 M14,786kg F3.3% P2.9% SNF8.6%
父：レーガンクレスト S ブラクストン ET
母：FR レーモン サマンサ トイ

所有者 浮川 優 殿

根室農業改良普及センター
営農対策情報

人工授精の立ち会いを うまく活用していますか？

飼養頭数の増加や労働力不足によって業務量が増えていますね。ついつい、人工授精の立ち会いを後回しにしている方はいらっしゃいませんか？立ち会いに

はメリットや大切な役割があるので、改めて人工授精について振り返ってみましょう！

メリット1 子宮や卵巣の状態を把握できる

繁殖障害の原因は乾乳期の飼養管理、分娩、泌乳期の栄養状態など多様にあります。繁殖がうまくいかない場合、表1のような症状が見られるので、人工授

精師の直腸検査結果と普段の牛の状態を情報交換して課題を整理しましょう。

表1 繁殖障害に関する用語説明(2019年営農改善資料より)

主な症状と原因	
卵胞嚢腫	発情がだらだらと長い。卵胞が嚢腫化。太りすぎ、ビタミン不足
卵巣静止	栄養不足
卵巣が小さい	栄養不足
黄体遺残	黄体が残っている。過肥、栄養不足、脂肪肝、飼料の急激な変更、飼料のカビ
黄体形成不全	黄体の形成が無い。乾物摂取量不足、ビタミンE不足、ストレス
排卵遅延	発情終了後24時間過ぎても排卵しない。 栄養不足、ビタミンA不足、硝酸塩濃度過剰
着床障害	子宮内膜炎、タンパク質含量過剰
子宮内膜炎	分娩時に子宮に侵入した細菌は、通常子宮は3~4週間でほとんど排出されるが、この期間を過ぎても細菌が存在し膿汁や膿性粘液を排出する。難産や死産、胎盤停滞、乳熱や産褥熱、ケトosisなどの周産期疾病でリスクが高くなる

メリット2 授精適期のタイミングを確認できる

受胎には授精のタイミングが重要です。タイミングが遅く、排卵している場合は、受精卵の使用が可能ですが、立ち会いがなければ選択できません。



子宮や卵の状態などの条件が良いときは、値段が高い種に挑戦する！など使い分けしている方もいます。

メリット3 牛群改良について相談できる

授精師は複数の農場を訪問しているため、体格など牛群の特徴に気がつきやすいので、牛群改良の相談をすると良いでしょう。牛群改良には種雄牛の情報も必要なので、台帳を用意しましょう。

重要 事故防止に努めましょう！！

酪農の農作業事故の多くは「牛舎」で起きており、「搾乳作業」や「家畜の管理」など『牛に触れる作業』によるものが74%を占めます(図1)。人工授精時も同様に事故のリスクがあります。普段はおとなしい個体でも、何かの拍子に驚いたり、見慣れない人に対して違う反応をすることもあります。

万が一に備えて、必ず立ち会いを行い、授精師の安全を守りましょう！

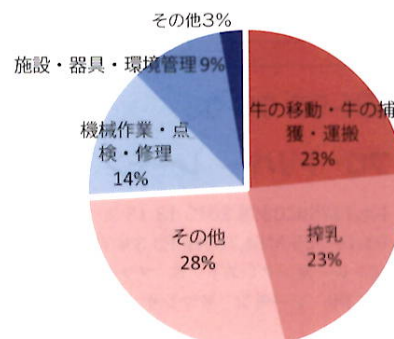


図1 平成25年度根室管内における農作業事故内訳



JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、来年度以降においても、組合員の皆様希望を持って営農できるよう、要請運動を展開してまいりました。9月末の概算要求決定前までの運動に加え、10月からはコロナ禍で需要が減少した作物への対策を求める運動を実施し、11月からは令和3年度農業関係予算や補正予算確保に向け、与党農林幹部や道内選出国会議員、農林水産省に対して働きかけを行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年どおりの要請とはなりません。

○JAグループ北海道農政NEWSウェブサイト
HPアドレス: <https://ja-dosanko.jp/nousei/>
ID:nousei PASS:hokkaido

○LINEで友達登録していただくと、情勢等の更新情報をご連絡いたしますので、是非、登録願います。

んでしたが、感染防止対策を講じた上での上京運動や議員会館や農林水産省と道内各地区をWEBで繋ぎ要請を実施するなど、コロナ禍ではありましたが最大限の対応を図り、道内生産現場の課題を伝えその解決策について提案をしてまいりました。

今後、要請内容や予算概要等の詳細は、JAグループ北海道農政NEWSウェブサイトに掲載しておりますので、ご確認願います。



自民党 宮下農林部会長への要請



JA北海道信連



還付金詐欺等の特殊詐欺による被害は、依然として減っていない状況にあります。JAバンクでは、窓口・ATMでの声掛けを継続して被害防止に努めるほか、北海道警察と連携した啓発活動にも取り組んでいます。10月～12月の3カ月間、STVラジオ番組の中に準レギュラーコーナーを設け、道警の担当者から特殊詐欺の手口や注意するポイント、日頃からの備えについてリスナーにお知らせしました。



JA共済連北海道



JA共済では、「特定重度疾病共済」資料請求キャンペーンを実施しております。JA共済ホームページから「特定重度疾病共済」の資料をご請求いただいた方に、有村架純さん・浜辺美波さんが表紙の「オリジナルA5ノート」をもれなくプレゼントしております。キャンペーンは令和3年3月10日(水)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけます

ようお待ちしております!

JA共済ホームページ

<https://www.ja-kyosai.or.jp/>



ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」に込めた想いを伝えるオリジナルアニメーション「from North Field (from・ノース・フィールド)」の第2弾を制作、特設サイト (<https://www.from-north-field.jp/>) などで公開を始めました。5歳の少年を主人公に、道内の酪農家から都会の食卓までの「生乳の旅」を分かりやすく紹介しています。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。プレゼント付アンケートのコーナーもあり、1月末まで募集しております。

是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧ください。アンケートへのご協力をお願い致します。



大地がひとを強くする。

AGRIACTION!

HOKKAIDO



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



わくわく

馬とのふれあい

中春別保育園

乗馬体験

中春別保育園にてお楽しみ会が12月11日(金)に行われました。



当日は冬晴れで、暖かく絶好の乗馬日和。子どもたちは、ポニーを見て大はしゃぎ。一周目は、怖がっていて真剣な顔で乗馬していましたが、慣れてくると笑顔で楽しんでいました。「もう一回乗りたい!」と子どもたちは元気いっぱい。ポニーに乗れない子どもも、馬そりに乗って一緒に楽しみました。室内ではくじ引きや、ボール投げなどが行われ、思い出に残るお楽しみ会となりました。



●【酪農経営科】加工実習

酪農経営科では、農業科目の中で食品製造を2年生と3年生で実施しています。現在はおもにチーズ製造やベーコンの製造実習を展開しています。科学的特性を生かした乳製品製造や、畜産の授業で学んだ家畜の肥育分野と結びつけて、食品製造における肉加工分野も学習の計画に組み込んでいます。また、課題研究の授業では乳製品の校内販売を実施しています。



校内販売(上)
加工実習の様子(下)

●【酪農経営科】管内酪農視察研修

12月3日(木)に2年生の生徒対象に管内酪農視察研修を実施しました。

午前中は西春別のジェイファームシマザキ共栄農場にて、酪農と肉牛生産、プレミアムアイスクリーム開発や海外販売事業の概要説明を受けた後、パーラーやフリーストール牛舎の見学をおこないました。



牛舎見学(上)
手術見学(下)

午後からは、北海道ひがし農業共済組合根室北部事業センターにて、NOSAIの業務内容説明を受けた後、最新の手術台を利用した第4胃変位整復手術の様子を視察しました。獣医師による非常に手際の良い手術の様子と、術後にすぐ立ち上がってスタスタと家畜車に帰って行く乳牛の姿に、生徒達は驚きを隠せない様子でした。地域でいかに乳牛の治療がおこなわれているかを目で見学したことは非常に有効で、今後の意識向上につながる研修となりました。参加生徒は、全体の感想として「おいしい水と環境のもとで生産された乳製品は、ブランド化できることを実感した」「これまでに牛舎での牛の手術を見たことがあったが、このようなシステムチックな治療がおこなわれているのは驚きだった」「若者が後を継げる酪農に魅力を感じる」といった感想を述べていました。

今後も酪農経営科では上級生を中心に先進的な地域の酪農技術について、またHACCPやGAPの取り組みについても継続的に授業展開していく予定です。

●【専攻科】第2回酪農技術現地研修会開催

2日目は大樹町の日昭牧場へ。現在の代表のお父さん方の代に法人化し、施設を増やすと共に規模拡大を続け、現在飼養頭数900頭、160頭フリーストール舎5棟の他にバイオガスプラントも備えたメガファームです。牛群管理にはファームノートカラーを導入し、これにより発情見逃しはほぼなくなったということでした。哺育舎も明るく広々として換気も充分で、しかも床暖が入っていました。途中で病気になる子牛はほとんどいないというのも頷けます。



日昭牧場見学の様子

昨日の放牧酪農と今日のメガファーム、形態は対局といえますが、特に牧場見学の経験が少ない1年生にはとても良い刺激になったようです。コロナ禍にもかかわらず、快く受け入れてくださった牧場の方々に心よりお礼申し上げます。

●【専攻科】乳業繁殖学特別講習

牛群改良や繁殖管理技術の学習を目的に、講師をお招きし11月18日(水)から4日間開講しました。18日ABS株式会社副主任森様・地域担当安倍様から遺伝改良・ゲノム検査について、19日ジェネティクス北海道道東事業所営業担当藤井様より改良目標設定やOPU/IVFの活用について、20日計根別農協酪農課酪農係長森脇様よりクロスブリーディングについて、24日株式会社釧路エリア担当ファームノート鏡沼様・農学博士杉本様よりファームノートカラーのシステム・利用状況・費用・課題などの講義を受けました。



乳牛繁殖学特別学講義の様子

すぐに取り入れられる実践的な講義内容で、学生にとって、経営改善意欲をかき立てられる充実した特別講義となりました。

●【専攻科】修了研究活動発表会

11月27日(金)2年目学生による修了研究活動発表会を実施しました。「搾乳牛の配合飼料給与調整による影響について」、「寒冷地におけるフリーバーン機能の検証」、「グラスサイレージの嗜好性向上を目指して」の3課題を発表しました。

1つめは乳成分調査から配合量が少ないと判断、配合増量の影響について調査しました。2つめはフリーバーンの細菌と水分を調査し、機能性を検証しました。3つめは、粗飼料中心の飼料設計に転換するため、グラスサイレージの品質改善と嗜好性向上について発表しました。関係機関から来校頂いた5人の講師の先生より、様々な視点から助言やご意見を頂きました。ご助言いただいたことを参考に、継続して経営改善に取り組んでほしいと思います。



修了研究発表の様子

飼養衛生管理基準が改正！ 定期報告書の様式も変更になります！

平成30年9月以降の豚熱の発生を受け、令和2年10月から飼養衛生管理基準が改正されました。従来のものに加え、より一層高い衛生意識を持った飼養管理が求められています。

出来るところから、地域一丸となって取り組みましょう！



主な改正点

- ① 本文構成の変更
- ② 所有者の責務・飼養衛生管理者について明記
- ③ 農場ごとの飼養衛生管理マニュアルの整備と自己点検
- ④ 農場への病原体の侵入防止を強化（消毒の徹底・強化）
- ⑤ 畜舎への病原体の侵入防止を強化（衣類・靴の消毒）
- ⑥ 野生動物の侵入防止対策の強化（柵・ネット・ねずみ）
- ⑦ 愛玩動物の衛生管理区域内での飼養禁止
- ⑧ 放牧制限に向けた準備
- ⑨ 衛生管理区域内の整理整頓と定期的な消毒
- ⑩ 飼料の加熱要件が改正（豚）

北海道根室家畜保健衛生所

TEL: 0153-75-2439

TEL: 090-9524-7912 (緊急専用: 土日祝日対応)

FAX: 0153-75-2737

飼養衛生管理基準（牛、めん羊、山羊など）

令和2年10月1日から飼養衛生管理基準が改正されました。
農場や地域の産業を伝染病から守るため、適正な管理をお願いします。

定期報告
の提出

衛生管理区域を設定（畜舎で使う道具の保管場所、たい肥舎など、全てを含む）
消毒設備などの設置箇所を平面図に記入



青年部・女性部合同 オリジナルお歳暮ギフトお札と結果

青年部・女性部合同オリジナルお歳暮ギフトの発送作業を、12月2日(水)に行いました。青年部、女性部9人の協力のもと、1セットずつ分担して詰めていきました。

結果は、Aセット52個、Bセット118個、Cセット91個で注文総数261個でし

た。たくさんのご注文、ありがとうございました。

今後も、お歳暮やお中元を含め青年部・女性部協力し合い、消費拡大運動に取り組みますので、ご協力の程よろしくお願いたします。



11月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

11月分乳代支払単価

				単 価	支 払 額	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg)%
乳 脂 肪 分				981.021	40.06	40.38	-0.32	乳 脂 肪 分 ①	40円06銭
無 脂 乳 固 形 分				623.295	55.08	55.98	-0.90	無 脂 乳 固 形 分 ②	55円08銭
生 産 者 補 給 金				6.2298	6.23	6.05	0.18	生 産 者 補 給 金 ③	6円23銭
集 送 乳 調 整 金				1.9042	1.90	1.81	0.09	集 送 乳 調 整 金 ④	1円90銭
補 給 金 合 計				8.1340	8.13	7.86	0.27	脂 肪 率 全 道	4.08%
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	312,421,257.3kg	3.80	3.75	0.05	農 協	4.19%
		ランク2	0	7,265,366.1kg				無 脂 固 形 分 率 全 道	8.84%
		ランク3	-3	107,007.8kg				農 協	8.79%
	体 細 胞 数	ランク1	2	290,783,601.2kg				成 分 乳 価 全 道	103円27銭
		ランク2	1	15,383,870.3kg				①+②+③+④=⑤ 農 協	104円09銭
		ランク3	-2	2,966,381.0kg				乳 質 乳 価 全 道	3円80銭
合 計					107.07	107.97	-0.90	⑥ 農 協	3円72銭
								乳 代 合 計 全 道	107円07銭
								農 協	107円81銭
								⑤+⑥ 差 異	0円74銭

関連会社より新年のご挨拶

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
令和3年 元旦



代表取締役 望月 英彦

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

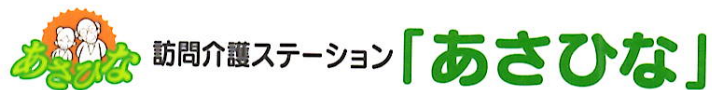
旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和3年 元旦



代表取締役 望月 英彦

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2861・FAX(0153)76-2865

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
令和3年 元旦



別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階 TEL・FAX(0153)76-3383

旧年中は何かとお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和3年 元旦



代表取締役 望月 英彦

酪農研修センター 別海町中春別170-1 TEL(0153)76-1230・FAX(0153)76-1232

全酪連育成センター 別海町中春別131-42 TEL(0153)76-1877・FAX(0153)76-1877

共和育成センター 別海町中春別115-7 TEL(0153)76-2040・FAX(0153)76-2016

初春のおよろこびを
申し上げます

皆様のご健康とご多幸と
心よりお祈りいたしてまいります
令和3年 元旦





「十二支・丑の由来」

十二支の2番目の干支であることから、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、結果につながる道をコツコツと作っていく時期とされます。

丑（牛）は酪農や農業、食用としても昔から人々の助けになってきたように、おっとりしているように見えても堅実で、真面目に物事を進め成長を続けることができ、規則、伝統などを守り、スロースターターのようなのですが一度始めると最後までやり切らないと気が済まない努力家が多く、働き者でもあります。

編集後記

組合員の皆さま並びにご家族の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい初春をお迎えのこと、心よりお喜び申し上げます。

日頃より広報誌「なかしゅんべつ」をご愛読いただきありがとうございます。昨年は、新型コロナウイルスの影響から、行事やイベントの中止・延期で、記事が例年より少なくなりました。しかし、皆さまの寂しい一年となりました。しかし、皆さまからの写真提供をいただき、学校行事などの紙面づくりに励むことができました。ご協力ありがとうございました。

最近ようやく取材に行けるようになり、「お姉ちゃん久しぶり！」と声をかけてくれた子どもたちがいつの間にか成長していて、時間の速さにとっても驚きました。私も、文章や写真撮影など、より一層成長していきたいです。今後も皆さまに楽しんでいただけるように努力しますので、よろしくお願いします。

また、組合員の広場では皆さまの作品を募集しています。まだ作品を紹介したことがない人でも大歓迎です。他にも身近な情報や話題をお待ちしていますので、お気軽に宮農振興原内までご連絡ください。

これから本格的に冷え込む季節となりますので、体調管理と車の運転には十分お気を付けてお過ごしください。

本年も皆様にとつて、素敵な一年となりますようお祈り申し上げます。